



常盤学区の健幸かるて（令和6年度版）

【令和6年12月作成】

草津市人とくらしのサポートセンター 地区担当保健師

1.人口構成(R6.4.30)

※市と比較して区分割合が高い項目に赤字着色

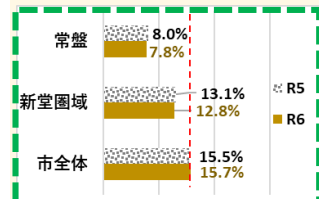
合計(年少/生産/高齢)							
年齢 区分	0～14歳		15～64歳		65歳以上		計(人数)
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
志津	2,485	17.5%	9,265	65.1%	2,486	17.5%	14,236
志津南	1,333	20.0%	3,840	57.5%	1,502	22.5%	6,675
草津	1,589	13.3%	7,583	63.7%	2,738	23.0%	11,910
大路	1,513	12.7%	8,050	67.4%	2,388	20.0%	11,951
矢倉	1,177	12.2%	6,174	64.1%	2,288	23.7%	9,639
渋川	1,317	13.7%	6,539	67.8%	1,784	18.5%	9,640
老上西	1,461	16.8%	5,361	61.8%	1,851	21.3%	8,673
老上	2,475	19.7%	7,998	63.8%	2,071	16.5%	12,544
玉川	1,305	10.6%	8,644	70.2%	2,360	19.2%	12,309
南笠東	747	9.7%	5,104	66.5%	1,821	23.7%	7,672
山田	937	12.1%	4,439	57.1%	2,396	30.8%	7,772
笠縫	1,570	14.0%	6,296	56.0%	3,371	30.0%	11,237
笠縫東	1,624	14.9%	6,449	59.3%	2,806	25.8%	10,879
常盤	648	13.3%	2,651	54.4%	1,571	32.3%	4,870
草津市	20,181	14.4%	88,393	63.1%	31,433	22.5%	140,007

【参考:65歳以上人口割合】常盤 32.1% / 草津市 22.4% (R5.4.30)

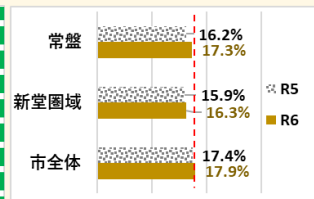
4.高齢者の状況

(※③は、40～64歳の第2号被保険者も含む)

①単身高齢者の割合(R6.4)



②介護認定率(R6.4)



③介護が必要となった原因で最も多い疾患(R1～R2新規申請者)

【要支援認定となった人】 高血圧症
【要介護認定となった人】 アルツハイマー型認知症 消化器系がん

④主観的健康観

健康状態が「とてもよい」「まあよい」と回答した人の割合
常盤:78.3%
草津市:80.2%

⑤主観的幸福感

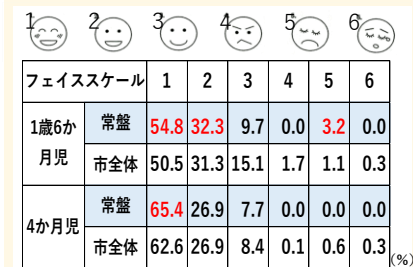
どの程度幸せかの平均(とても不幸 0点 ～ とても幸せ 10点)
常盤:6.9点
草津市:7.0点

6.地域資源(地区組織活動・社会資源等)

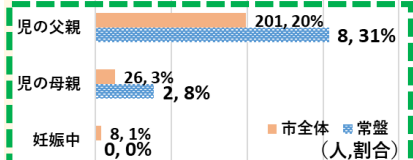
医療機関 医科:1か所・歯科:1か所	スーパー:1か所・コンビニ:1か所	地域サロン:14か所	健康推進員 8人
薬局:2か所・ドラッグストア:1か所	子育てサークル・拠点施設:3か所	町内会 16個	

2.妊娠・出産・子育て(乳幼児健診問診結果)

①育児に対する今の気持ちに近いフェイススケールの割合(R5年度)



②喫煙状況(R5年度:4か月児健診時)



③「育てにくさを感じているか」の割合(R5年度)

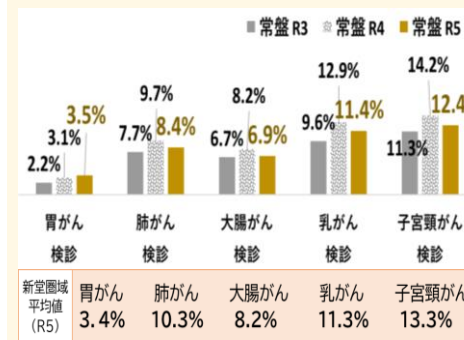


5.地域の声

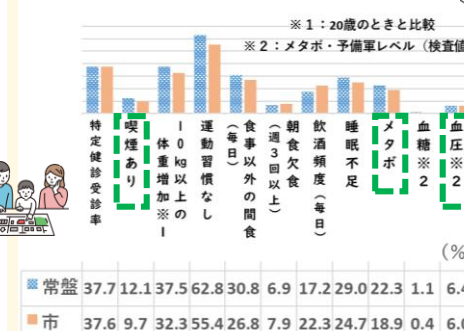
「減塩って言われているけど、塩分は特に気にしてないな。」
「常盤の強みは助け合う力があること。」
「一人暮らしのためできたものを買って来ても多く、塩分も多いと思う。」
「町内のイベントには参加する人が多いと思う。」

3.からだの健康・生活習慣

①市が実施しているがん検診の受診率推移(R3～5年度)



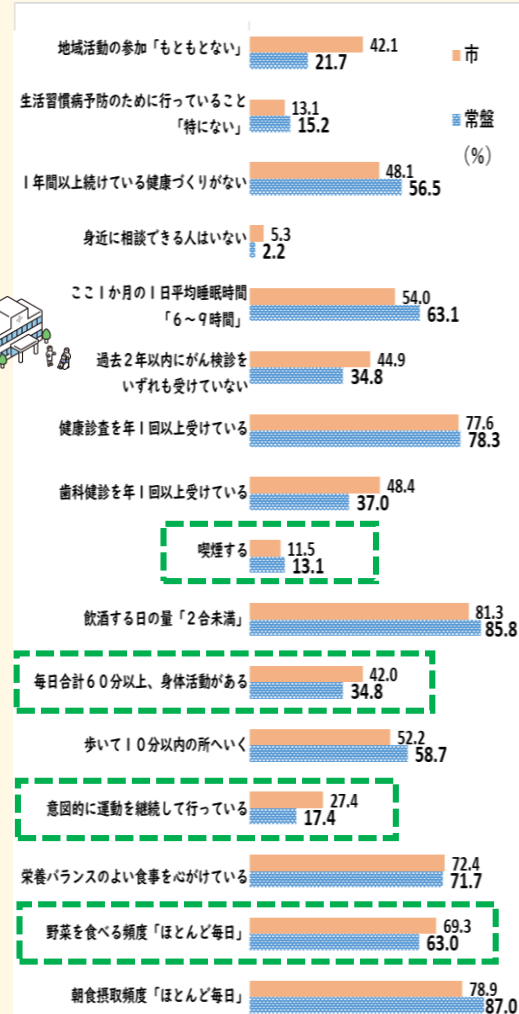
②特定健診受診率・問診・検査結果(R5年度)



～地域の取組・活動の様子～



③生活習慣 健康に関するアンケート調査結果:対象18～74歳(R4年度)



<地域の目指す1年後の姿(目標)> 常盤学区の住民が、健康寿命を延ばすために生活習慣を見直し、自分に合った健康づくりに取り組むことができる

<地域の特性と健康課題>

- 市内で最も人口は少なく高齢化率が最も高い学区です。三世帯同居の割合が高く、地域住民同士のつながりも強いです。
- 市街地から遠く、車がないと買い物や受診などが不便という声を多く聞きます。
- 特定健康診査の問診やアンケート調査にて喫煙している人が多く、4か月児健診時の喫煙状況も高い状況です。
- 介護保険申請の原因疾患として、要支援認定となった人では、高血圧の人が多くいます。
- まちづくりセンターでのけん診に学区内の方が多く参加しています。

<健康課題の解決に向けた取組方針・活動状況>

- 学区住民の生活習慣(食生活や運動習慣等)の把握を進め、あらゆる世代の人が自身の健康に関心を持ち、よりよい生活習慣を持てるよう、まちづくりセンターや常盤東総合センター、地域サロンなどの地域の方の集いの場や、郵便局やJAにて健康測定会や健康啓発を行います。
- 「語ろう 安心できる ときわ」を通じて、常盤学区で暮らし続けるために個人や地域でできることを、地域の皆さんとともに協議を行っていきます。